

とやまファン  
倶楽部

No.28

2014



CONTENTS



リレーエッセイ 27 / 宮川 泰夫	2P
第19回とやまファン倶楽部会員交流会	3P
とやま賞	4P
「夢の卵」育成事業	5P
会員交流広場	6P
富山県からのお知らせ	7P

# 私が富山県を好きな理由わけ

宮川 泰夫さん



プロフィール  
宮川 泰夫(みやかわ やすお)  
フリーアナウンサー、元NHKエグゼ  
グティブアナウンサー

1945年 新潟県生まれ、東京育ち  
1968年 東京大学文学部社会学  
科卒業、NHK入局  
長崎、帯広、福島、仙台を経て、東京  
アナウンス室勤務。  
「のど自慢」、「ひるのプレゼント」、  
「モーニング・ワイド」、「紅白歌合戦」  
総合司会、「NHKスペシャル」等を  
担当。  
2005年 定年退職。退職後もNH  
Kを中心にテレビ・ラジオ番組の司  
会、講演会、シンポジウムのコーディネーター等、幅広い分野で活躍中。  
とやまファン倶楽部世話人。

「NHKのど自慢」の司会を十二年間担  
当し、毎週毎週、全国各地を旅して地元  
の方々と出会い番組を作ってきました。

一年間の旅の日数は百六十五日、訪れ  
た市町村は六百か所(全国の自治体の三  
分の二)、出会った人々は十五万人(日本  
の人口の八百分の一)にのぼります。

「全国を旅してどこが一番好きで  
すか?」とはよく聞かれた質問でした。番  
組を担当中は言葉を濁していましたが、  
司会を卒業してカミングアウトしました。  
「四七都道府県で一番好きなのは富山  
県です」と。

断っておきますが、私は富山県出身で  
はありません。

私が富山県を好きな理由を挙げてみま  
す。  
富山県への旅はほとんど飛行機を利用  
しましたが、出発前から胸がはずみまし  
た。羽田から富山へ向かう便は、北アルプ  
スの真上を横切って飛んで行きます。晴  
天であれば、槍ヶ岳や穂高岳、立山などの  
名峰が手に取るように眺められます。絶  
景です。「のど自慢」の旅で全国の空港を  
踏破した私のイチ押し飛行ルートです。

空港に降り立つといつも爽やかな風が  
吹いています。清涼感にあふれた風です。  
富山県の魅力をひとこと言えば、この  
〈清涼感〉です。

ご存知のように、富山県は〈標高差四  
千メートルの自然〉をうたっています。  
立山連峰からの風は三千メートルの高さ  
から吹き下ろし、富山湾からの風は千  
メートルの深さを伴って吹きあげます。

山から海までの地上距離はわずか五十キ  
ロですから、吹く風はまじり気のない本  
物の風、爽やかでないはずがありません。

清涼感その二は水です。三千メートル  
からの雪解け水は清涼そのもの。勢いよ  
く瀬音をたてる川は本来の川らしく清々  
しい。そして地下に潜った水は海岸近く  
で自噴します。おいしい御清水です。

この空気と水で育った農産物、特に米  
は一級品ですし、米と水でつくる酒は格  
別の美味しさです。

そして、私の何よりのお気に入り富山  
湾の魚です。水深千メートルまで一気  
に深くなる構造と海底に真水が噴き出す  
独特の環境は、季節ごとに様々な魚を育  
みます。〈キトキト〉という言葉には、

鮮度だけでなく、富山の清涼感も表現さ  
れていると私は思います。

清涼感も風景にもあふれています。  
何ととっても、三千メートルの立山連  
峰です。海岸から五十キロですから、さ  
ながら屏風のようにすべての風景を引き  
立てます。

そして、その屏風の前で展開される四  
季折々の里山の美しさです。富山県は有  
数の農業県、しかも水田の比率がとて  
高い県です。

春の早苗、夏の青田、秋の黄金の波、  
冬の枯れ田―四季の田んぼの風景は日本  
人が最も美しいと感じ、懐かしさがあふ  
れてくる風景です。

更には、集落の家々の風景です。富山  
県は、持ち家率および家の延べ面積が日  
本一。特に農村部は、広い敷地の中に瓦  
を乗せた日本家屋がドッシリと建ってい  
て、集落の風景に風格があります。

北陸新幹線の開業で、どの県も観光客  
を呼び込もうとPRに懸命です。

しかし、十二年間の「のど自慢」の旅  
で得た私の確信は、〈地域資源〉と表現

される地域の財産・宝は、まず第一に、  
その地元に住む人々のための財産・宝で  
あるべきだということです。富山県はこ  
の意味での〈地域資源〉にあふれていま  
す。

四季折々の風景を愛で、清々しい空気  
や水の恵みを頂き、新鮮でおいしい農作  
物や魚に舌鼓を打つ―富山県は、日々の  
暮らしを楽しく穏やかに過ごす宝がいっ  
ぱいです。つまり、県民の〈幸福度〉が  
第一級なのです。「私が富山を好きなワ  
ケ」は、つまるところ、この〈幸福度〉  
の高さです。

これからの観光は、絵ハガキで見た場  
所を〈確認〉するだけの旅から、その土  
地ならではの食べ物や人の暮らしを〈体  
感〉し〈発見〉する旅になっていくで  
しょう。富山県には、〈体感〉〈発見〉  
の材料があふれています。

北陸新幹線の開業を前に、富山県の宝  
は自分の足元にあるということに気付い  
てほしい、そんな気持ちで、この小文を  
書かせて頂きました。

北陸新幹線の開業を前に、富山県の宝  
は自分の足元にあるということに気付い  
てほしい、そんな気持ちで、この小文を  
書かせて頂きました。

北陸新幹線の開業を前に、富山県の宝  
は自分の足元にあるということに気付い  
てほしい、そんな気持ちで、この小文を  
書かせて頂きました。

北陸新幹線の開業を前に、富山県の宝  
は自分の足元にあるということに気付い  
てほしい、そんな気持ちで、この小文を  
書かせて頂きました。



# 第19回 とやまファン倶楽部 会員交流会

# TOYAMA FAN CLUB

挨拶



堂故参議院議員

開会挨拶



石井知事(財団理事長)

開会挨拶



川田代表世話人

会員と富山県及び会員相互の情報交流の場である「とやまファン倶楽部会員交流会」が7月10日(木)に台風接近の心配もありましたが、ホテルフロラシオン青山(東京)で約140名の会員の皆様の参加のもと盛大に開催されました。

会場内では、新世話人、新入会員の紹介したほか、「夏マグロ」や「シロエビ」をはじめ富山の新鮮な食材を使った料理や地酒を用意し、会員の皆様に富山の味を堪能していただきながら、示唆に富んだご助言・ご提案を多くいただきました。

乾杯



福田代表世話人

お礼の言葉



高平県議会議長



新入会員の皆様紹介



新世話人の自己紹介



マグロの解体実演



北陸新幹線のPR  
(きとと君とぶりと君)



## とやま賞とは

「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県ならびに日本の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で31回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者、または富山県内在住者とし、学術研究、科学技術、文化・芸術、スポーツの分野において、顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される人に対して、賞状、奨励金を贈呈して、その活動を奨励しております。

今年度の贈呈式は、5月29日(木)に富山国際会議場メインホールで行われ、学術研究部門で3名、文化・芸術部門で1名、スポーツ部門で1名の計5名の方々を受賞されました。

併せて、富山県立大学工学部 教授、ERATO 浅野酵素活性分子プロジェクト研究総括 浅野 泰久氏による記念講演が行われました。

## 第31回受賞者

## とやま賞

### 学術研究部門 医薬分野(免疫学)

富山大学大学院 医学薬学研究部(医学)免疫学 助教

小澤 龍彦 氏

ISAAC法を用いた抗体の迅速単離法の開発と得られた抗体の応用



### 学術研究部門 理工分野(分子分光学)

富山大学大学院 理工学研究部 准教授

小林 かおり 氏

星間分子雲の進化過程解明を目指すマイクロ波スペクトルデータベースの構築



### 学術研究部門 人文・社会分野(音楽学)

同志社大学 文学部美学芸術学科 准教授

大愛 崇晴 氏

16・17世紀の西洋の音楽理論における数学の役割



### 文化・芸術部門 (日本画)

富山大学 芸術文化学部 准教授

高橋 圭史 氏

再興第97回院展日本美術院賞をはじめとする日本画制作研究の成果



### スポーツ部門 (レスリング)

至学館大学

登坂 絵莉 氏

レスリング世界選手権優勝など各種大会における活躍



演題「未知の酵素を表舞台に引っ張り出す」



熱心に聴く高校生、参加者

## 「夢の卵」 育成事業



この事業では、「将来こんなことがしたい」「こんな職業に就きたい」という「夢の卵（将来の夢）」を作文にしてもらい、優秀作品として表彰された皆さんをその道の第一人者のもとへ派遣する事業です。（平成16年度から始まり今年で11回目）

今年度は、小学生の部792作品、中学生の部505作品、合計1297作品の応募があり、その中から選ばれた4名の子どもたちに夏休み期間中、夢に一歩近づいてもらうために、短期入門してもらいました。

## 小学生の部

入門  
内容

富山市立宮野小学校5年生  
田口 新己さん

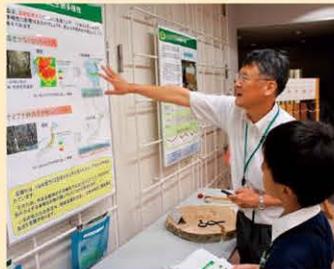
「武将の気持ちを読み取る歴史研究家」という夢を抱いて、歴史研究家の小和田 哲男氏に短期入門しました。



入門  
内容

高岡市立伏木小学校6年生  
大橋 亮介さん

「地球を温暖化から救う研究者」という夢を抱いて、（独）森林総合研究所の荒木 誠氏に短期入門しました。



## 中学生の部

入門  
内容

砺波市立庄西中学校1年生  
戸田 麻衣香さん

「愛情いっぱいの畜産農家」という夢を抱いて、名古屋大学大学院生命農学研究科附属フィールド科学教育研究センター東郷フィールドの大蔵 聡氏に短期入門しました。



入門  
内容

滑川市立早月中学校1年  
山本 朱里さん

「世界中の人を助けられる青年海外協力隊になりたい」という夢を抱いて、大阪大学大学院の澤村 信英氏に短期入門しました。



# 会員交流広場

## ～皆様からのメッセージの一部を紹介～

今年度の会員交流会(7月10日(木)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ(<http://www.t-hito.or.jp>)に掲載させていただいております。

来春の開通予定の北陸新幹線も秒読みに入り、テレビ、新聞等マスコミで盛んに宣伝されていますが、開通とともに北陸方面、特に富山の魅力(自然、食物、生活環境、生活水準の高さ、人情、伝統のお祭り、催し物等)を伝えられ、今更ながら富山に住んで本当に幸せだったと思っている今日この頃です。

この環境のよさは必ずや関東、関西に住む人にも理解され、両圏に住むその人達は北陸方面を両圏の奥座敷(少し表現が大きかったか?)として利用者の増大が期待でき、活況を呈するものと思っている次第です。

雨晴海岸から見る紺碧の富山湾を前面にして雪を抱いた立山連峰の姿は、神々しく、私が最も好きな富山県の風景です。世界に誇れる富山県の自然だと思えます。

写真をいつもオフィスに掲げておりますが、随分元気づけられます。

来年に開通する北陸新幹線、楽しみですね。

40年前、東京となると特急で6時間半。急行で10時間(?)近くかかっていましたかねえ。より一層、北陸富山を皆さん身近に感じてもらえたなあとと思っています。

毎年、絵友達と我が実家を拠点に立山連峰、氷見、五箇山等富山の良さを絵にしています。富山の評判、日増しに上がっています。うれしい限りです。

富山第一高校サッカー部の全国優勝にバスケットボール富山グラウジーズのbjリーグ3位。おめでとうございます。

北陸新幹線が開業するともっともたくさん応援が来やすくなりますね。

世界的に有名な合掌造り、黒部峡谷など憧れておりましたが、改めて「とやまの姿」でご紹介いただき感激です。うるおいのある海、山にかこまれ、優しさあふれた人達の顔々、正直申しまして、もう少し若い時に出会っていたら良かった!

今春、桜が満開の頃、「ふるさと訪問ツアー」を実施しました。絶好の春日和で舟川の両岸に植えられた桜の間を清流が流れ、その背後に雪をかぶった日本アルプスが見える絶景となっていました。その上、今年からタンポに植えられたチューリップの花が美しく咲き開いて砺波を偲ばせる風景で私たちを迎えてくれました。

夜は朝日町の温泉の郷土料理に舌鼓を打ち、翌日は宮崎海岸や八幡宮で大歓迎を受けました。

このようなツアーを毎年1ヶ所ずつやっていきたいと考えています。

郷里の諸先輩方のDNAを受け、生涯現役で頑張っています。

今夏に高岡へ出張します。北陸新幹線の開通を心待ちにします。

更に近くなりますね。「きときと富山 きてきて富山」をPRしています。

北陸新幹線が開通すること。東京が近くなるが、東海が遠くなるような気がして少し淋しいと感ずる。

## 「富山県への助言」の一部をご紹介します。

来春には北陸新幹線が開通します。東京から2時間余りで行けるようになるのは、観光富山にとってまたとないチャンスだと思います。これまでの立山黒部観光の魅力紹介をさらに大きく展開するとともに、文化都市富山・高岡の紹介を強化してほしいと思います。薬ツアーとか、仏壇づくり見学、7年制の富山高校以来の教育県のPRもしたらいかがかと思います。

北陸新幹線の開通を来年春に控え、名古屋でも何かと話題になっています。東京一富山が便利になるのは結構ですが、このうえは、何としても早く金沢以西へ延ばしてもらって、東海道新幹線と結ばれるよう願っています。

北陸新幹線の在来線を運営する「あいの風とやま鉄道株式会社」と「IRいしかわ鉄道株式会社」の一体的運営と氷見線・城端線との時刻表上の連携を期待します。

間もなく北陸新幹線開通で富山は日本のやや真ん中に位置するのでメディア等に呼びかけを多くして、その魅力をPRしていただきたいと思います。

北陸新幹線、次は、大阪へ。関西へ富山の露出度、もっと増やしてください!

2012年に立山カルデラ砂防博物館で「氷河と万年雪」の展示会が開かれたように立山連峰には、我が国で初めて認められた現存する「氷河」があることを富山の魅力として全国的に発信して欲しい。

富山県にヒト、モノ、カネを引き寄せる施策として、高速道路を活用した富山県独自の施策に取り組んでみてはどうか。まずは、期間限定でも…。

とやま帰農塾の提案はすばらしい。農から商品化へ、そして流通にと若者へのメッセージ。これこそ今後の日本の歩むべき道です。大量生産の工業とは別の道への提案。成功をいります。



# 2015年3月14日 北陸新幹線富山へ

いよいよ北陸新幹線が2015年3月14日に開業します。これにより東京と富山は最短で2時間8分で結ばれることとなります。運転本数は、かがやき(速達タイプ)が10往復(東京～金沢)、はくたか(停車タイプ)が15往復(東京～金沢14往復、長野～金沢1往復)、つるぎ(シャトルタイプ)が18往復(富山～金沢)となります。また、県内設置の3駅についても工事が大詰めを迎えています。

黒部宇奈月温泉  
富山駅  
新高岡駅

新湯  
越後湯沢  
長野  
高崎  
大宮  
東京

TOYAMA

元氣とやまマスコット  
きとときと君&ぷりと君

駅舎完成イメージ(提供:鉄道・運輸機構)

## 北陸新幹線に関する情報は

北陸新幹線 富山

検索

## 開業に向けたさまざまな取り組み

富山 越中  
幸のこわけ

べつばら富山  
BETSUBARA TOYAMA

新幹線開業による観光客増加を見込み、女性の感性を積極的に導入した富山土産の統一ブランド化や30～40代女性をターゲットにしたお土産の商品開発などに取り組んでいます。

べつばら富山  
<http://toyamanomiyage.blog.fc2.com/>  
越中富山お土産プロジェクト～幸のこわけ～  
<http://www.sachinokowake.com/>

北陸新幹線で行く!  
ちよいと富山

2015年3月の北陸新幹線開業まで富山ネタ満載の60秒ショートストーリーを放送中。

番組には立川志の輔さんら富山ゆかりのスペシャルゲストが出演しています。

日本テレビ「news every.」  
(毎週金曜夕方16:50～)内にて放送(18時台に放送)  
[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1002/kj00014008.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1002/kj00014008.html)

ねまるちや  
おとやま観光ナビ

観光季誌「ねまるちや」、富山の魅力を深く掘り下げた「ロカルちや!富山」を発行しテーマ性のある観光情報を発信。また、「富山湾鮨」とやまの美味しい朝ごはんなど富山の魅力を広く県外にPRしています。

とやま観光ナビ  
<http://www.info-toyama.com/>

# TOYAMA FAN CLUB



## 問合先

### ■事務局

公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階

TEL076-444-2000 / FAX076-444-2001

E-mail:toyama@t-hito.or.jp <http://www.t-hito.or.jp>

### ■連絡所

富山県知事政策局

〒930-8501 富山市新総曲輪1-7

TEL076-444-9603 / FAX076-444-3473

富山県首都圏本部

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階

TEL03-5212-9030 / FAX03-5212-9029

富山県大阪事務所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館3階

TEL06-6445-2811 / FAX06-6445-2611

富山県名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4階

TEL052-261-4237 / FAX052-263-7308